



もっと知って欲しい!

あなたの近くの消防団

地域を守る消防団

明石市消防団は8分団50班で組織されています。各班が地域に密着した活動を行っています。



消防署の職員と消防団員の違いは何?

消防職員

消防署に勤務する消防職員は明石市の職員です。さまざまな災害に対応するため、交代で24時間消防署などに勤務しています。



消防団員

普段は消防とは別の仕事をしています。火事や災害の際には、自宅や職場から現場に駆け付け、消火活動や救助活動などを行います。



消防団ってどんな活動をしているの?

災害時

消火活動

火事が起きた際に現場に駆け付け消防署と協力し、消火活動を行います。また、消火したあと見守りなども行っています。



平成29年に発生した大蔵市場の火事に出动しました。消火後の現場で、ホースの片づけやガレキ撤去作業を行いました。

第1分団 山崎 亮平さん

救助活動

大規模な災害が発生したときは、消防署と協力し救助活動などを行います。



水防活動

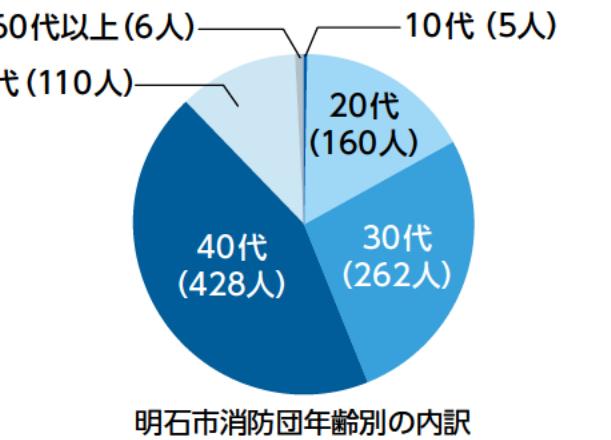
台風や大雨などで増水した河川の警戒活動や、市民の避難誘導などを行います。

point

その地域に住んでいる消防団員だからこそ分かることがあります。災害時の混乱した現場では、消防団員の持つ情報がとても重要です。

市内の消防団員の現状

市が定める消防団員の定数は1040人。消防団員の数は、毎年少しずつ減少し、定数を割る状況が続いています。年齢別にみると、30代・40代が団員の7割を占め、仕事と消防団活動を両立させながら活動しています。



平常時

災害対応のための訓練を行っています。ほかにも、地域で開催される祭りやイベントでの警戒活動、野焼きの警戒なども行っています。



▲8月27日に開催する消防操法大会に向けた訓練

1月

出初式

消防団による一斉放水が
出初式の見せ場。

6月

水防訓練

台風やゲリラ豪雨に備えて、
土のう作成や土のうを使用した水防工法を訓練します。

大切な人 大切なまちを守るために



誇れる活動です

子どもに「消防に行く」と伝えると、「すごい」と言われます。地域の人を守ることができる、誇れる活動です。



第3分団 増田 剛史さん

明るく活動しています

厳しい人ばかりだと思っていたが、みんなよく笑い、明るく活動しています。地域の安全を守り、社会貢献できる活動です。



第2分団 高雄 悟さん



第1分団 鍛治 遥起さん

若い入って欲しい

消防団に所属している父の影響で入団しました。若い人がもっと入ってくれると嬉しいですね。

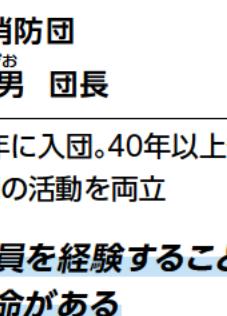


女性消防団「女組」

平成25年に10人の女性消防団員でスタート。現在は14人で活動しています。火災予防啓発活動や、救急救護活動を主な任務とし、災害時には、避難誘導や後方支援活動を行います。

いろいろな経験ができます

祖父や父も消防団に所属していたので、消防団の活動が身近にありました。消防団ならではのいろいろな経験ができるし、地域に貢献できる活動です。



第3分団 衣笠 拓摩さん

あなたの力が
必要です！

消防団と聞くと、男性のイメージが強いですが、私たち女性も一緒に活動していることをもっと知って欲しいですね。被災者から、「女組」がいたから不安が解消したと言われたことが記憶に残っています。

消防団に入るには



活動に必要な服装などは
どうするの？

A 18歳以上の健康な人で明石市在住であれば、誰でも入団資格があります。
※段階的に定年を60歳まで延長中です。
今年度は53歳までの人が対象です

Q 報酬はもらえるの？

A 年額報酬や、災害活動や訓練活動に出動したときは出動報酬が支給されます。

Q お気軽にお問い合わせください

消防局総務課消防団担当

TEL 918-5274 FAX 918-5983 fire119@city.akashi.lg.jp



気になることは何でも聞いてください！
メールでも受け付けています